

エコアクション21
環境経営レポート

対象期間：2023年度/56期(2023年11月～2024年10月)



作成年月日：2024年12月27日

平井工業株式会社

目 次

I. 組織の概要と取組の対象範囲	・ ・ ・ P 1～2
II. 実施体制	・ ・ ・ P 3
III. 環境経営方針	・ ・ ・ P 4
IV. 環境経営目標	・ ・ ・ P 5
V. 環境経営計画	・ ・ ・ P 6
VI. 環境経営目標の実績	・ ・ ・ P 7
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価	・ ・ ・ P 8
VIII. 当社の取組	・ ・ ・ P 9～11
IX. 環境関連法規等の遵守状況確認・評価結果と 違反、訴訟の有無	・ ・ ・ P12
X. 代表者による総合評価と見直し・指示	・ ・ ・ P13

I. 組織の概要と取組の対象範囲

□組織の概要

◇商 号 平井工業株式会社

◇代表取締役 平井 義正

◇所 在 地

・本 社 〒419-0125 静岡県田方郡函南町肥田519
電話 055-978-2722
FAX 055-978-2974
敷地面積 5,028㎡
事務所棟 653㎡ / 倉庫 129㎡
配電盤組立工場 684㎡ / 板金工場 1,435㎡
社員駐車場 838㎡

・御殿場支店 〒412-0041 静岡県御殿場市茱萸沢917-3
電話 0550-88-1710
FAX 0550-88-1720

・三島支店 〒411-0822 静岡県三島市松本274-5
電話 055-939-5152
FAX 055-939-5153

◇資 本 金 2,400万円

◇売 上 高 135,836万円（56期）

◇役 員 3名

◇従 業 員 78名

◇設 立 昭和44年 4月16日

◇事 業 経 歴
昭和44年 4月 平井工業(株)設立
平成 4年 6月 資本金1200万円に増資
平成 7年 3月 配電盤組立工場新築
平成12年 9月 御殿場支店を開設
平成13年 6月 資本金2400万円に増資
平成16年10月 事務所棟増築
平成16年11月 代表取締役任平井義正就任
平成22年 5月 東京支店を開設
平成27年10月 板金工場新築
令和 2年 3月 三島支店を開設

◇環境管理責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者	管理部長	杉山孝洋
担当者	工事営業部	田中克尚
TEL	055-978-2722	
FAX	055-978-2974	
E-Mail	y-tanaka@hirai-k.co.jp	

◇營業品目

- | | |
|-----------|---|
| 1. 工事部門 | 電気工事 |
| 2. 維持管理部門 | 設備の点検
設備の維持管理 |
| 3. 工場製作部門 | 配電盤、制御盤、監視盤、分電盤の設計及び製造
板金加工、ステンレス盤、アルミ盤、銅製品の加工 |

◇許可登録

静岡県知事許可 (特一02) 第38385号
電気工事業

◇主な取引先

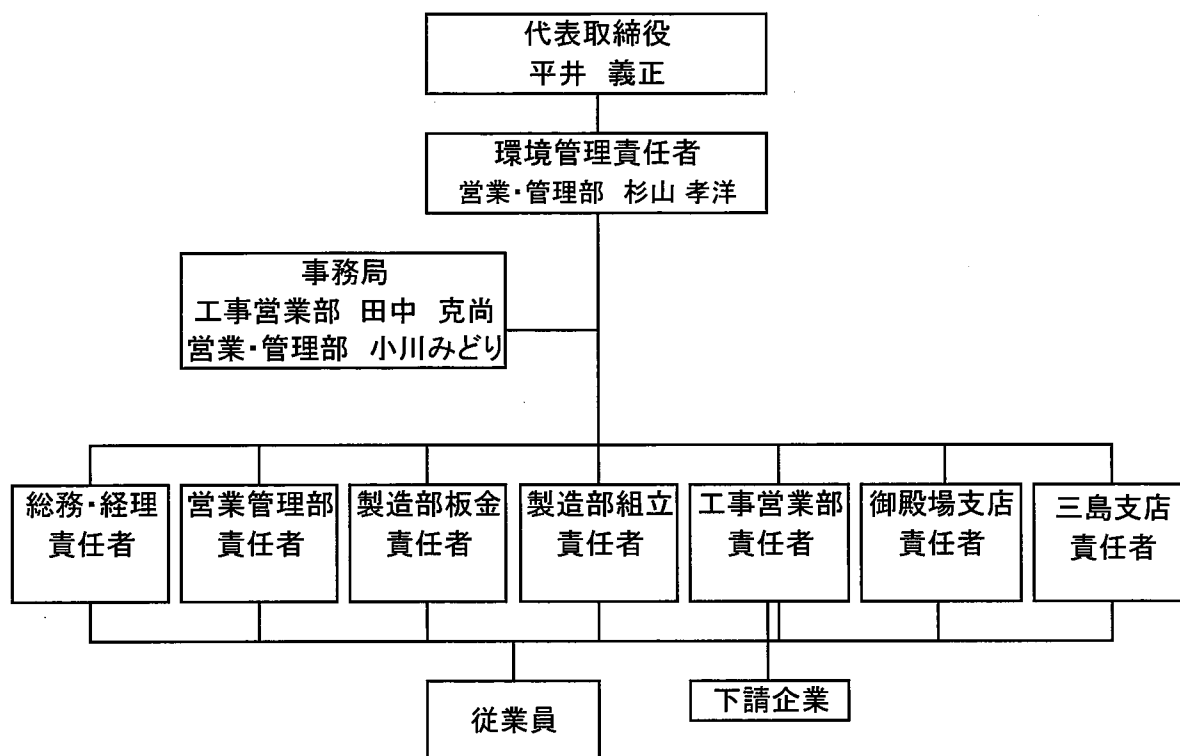
静岡県、御殿場市、三島市、函南町
株式会社 明電舎
明電システム製造 株式会社
明電プラントシステムズ 株式会社
株式会社 明電エンジニアリング

□取組の対象範囲

- ・配電盤、制御盤等の設計・製造及び電気工事、設備の点検・維持管理を対象とする
- ・御殿場支店は対象とするが、事務所は賃貸であるため、電気、水道、ガスの使用量が把握出来ないため活動のみとする。
- ・三島支店においても事務所は賃貸であり、電気、水道、ガスの使用量は、家賃に含めた管理費として支払いをしていますが、電気量のみ取り組み対象とする。

Ⅱ. 実施体制

2024年10月31日



□関係者の権限と役割

代表取締役

- ①環境経営方針の決定
- ②環境経営目標の決定
- ③環境経営システム全体の評価と見直し
- ④環境責任者の任命
- ⑤経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

- ①環境経営目標の達成・状況把握および改善指示
- ②取組状況の社長への報告
- ③環境経営システムおよび環境経営方針の評価と見直し

事務局

- ①情報収集およびデータ分析
- ②問い合わせの対応
- ③環境経営レポート作成
- ④環境経営目標・環境経営計画の進行管理
- ⑤環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑥文書類の管理

部門責任者

- ①従業員の環境活動推進の評価
- ②環境経営目標達成に向けた取組実行の指導
- ③環境負荷および取組の自己チェック実施
- ④法規制の遵守状況チェック

従業員

- ①活動の推進(具体的取組の計画・対策・実施・改善・周知)
- ②自分の推進する環境活動の状況を部門責任者に報告

Ⅲ. 環境経営方針

平井工業株式会社 環境経営方針

◇環境理念

平井工業株式会社は、配電盤・制御盤等、設計製作の生産部門と電気工事、設備の点検、維持管理の工事部門において、地球および地域の環境に影響を与えることを認識し、環境保全・資源循環型社会の一員として環境問題に取り組み、全社員一丸となって、人、まち、地球にやさしい環境を目指します

◇基本方針

私達は環境理念の基、以下の方針を定め全員参加で取り組みます
方針に沿った活動目標の設定・遂行および目標の見直しを通じて継続的な改善を促進します

1. 事業活動において、省エネルギーを推進し二酸化炭素排出量削減・水使用量の削減に努めます
 - 1) 軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます
 - 2) 節電活動による電気使用量の削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 事業活動において、省資源化を推進し産業廃棄物の削減に努めます
 - 1) 鉄くずの削減を目指すと共に、分別を徹底し再資源化出来るように努めます
 - 2) 廃プラ、木くず等の削減に努めます
 - 3) 紙くずの削減を目指すと共に、分別し再資源化出来るように努めます
3. 化学物質の適正管理の徹底に努めます
 - 1) 工場で管理の徹底を図ります
4. 環境に配慮した製造活動を努めます
 - 1) 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を徹底します
 - 2) 効率的な職場を作り、生産性の向上に努めます
 - 3) 環境に配慮した建設現場の施工管理に努めます
5. 環境コミュニケーションの実施に努めます
 - 1) 環境経営レポートの公開をし、地域のコミュニケーションに努めます
6. 事業活動において、関係法令を遵守し、環境保全に努めます

制定年月日	2015年 9月 1日
改訂年月日	2016年 4月 1日
改訂年月日	2019年 4月 1日
改訂年月日	2024年 4月 1日

平井工業株式会社

代表取締役 平井 義正

Ⅳ. 環境経営目標

令和2年度東京電力調整後排出係数 0.441kg-CO₂/kwh使用
令和3年度(株)ハルエネ調整後排出係数 0.466kg-CO₂/kwh使用

取組項目	期 単位	基準年(54期)	57期	58期	59期
		(2021年11月～ 2022年10月)	(2024年11月～ 2025年10月)	(2025年11月～ 2026年10月)	(2026年11月～ 2027年10月)
		実績	目標	目標	目標
CO ₂ 排出量	kg	95,091	(3%削減)..... 92,238	(4%削減)..... 91,287	(5%削減)..... 90,336
電力	kwh	162,051	(3%削減)..... 157,189	(4%削減)..... 155,569	(5%削減)..... 153,948
LPG	kg	39.33	(3%削減)..... 38.15	(4%削減)..... 37.76	(5%削減)..... 37.36
灯油	L	627	(3%削減)..... 608	(4%削減)..... 602	(5%削減)..... 595
灯油(建設現場)	L	78	(3%削減)..... 75	(4%削減)..... 74	(5%削減)..... 73
ガソリン	L	基準年を55期に変更 1,765	(3%削減)..... 1,712	(4%削減)..... 1,694	(5%削減)..... 1,676
ガソリン(建設現場)	L	5,671	(3%削減)..... 5,501	(4%削減)..... 5,444	(5%削減)..... 5,387
軽油	L	1,783	(3%削減)..... 1,730	(4%削減)..... 1,712	(5%削減)..... 1,694
軽油(建設現場)	L	712	(3%削減)..... 691	(4%削減)..... 684	(4%削減)..... 676
廃棄物排出量					
一般廃棄物	t	1.50	(3%削減)..... 1.45	(4%削減)..... 1.44	(5%削減)..... 1.43
建設混合廃棄物	t	5.46	(3%削減)..... 5.3	(4%削減)..... 5.24	(5%削減)..... 5.19
産業廃棄物	t	89.69	(3%削減)..... 86.99	(4%削減)..... 86.1	(5%削減)..... 85.2
水使用量	m ³	454	(3%削減)..... 440	(4%削減)..... 436	(5%削減)..... 431
化学物質の管理	—	—	日常の適正管理	日常の適正管理	日常の適正管理
グリーン購入	%	77.4	79.7	80.4	81.2
生産性向上に関する提案	件数	各部門1件以上	各部門1件以上	各部門1件以上	各部門1件以上
欠損率	%	2.00%	1.40%	1.20%	1.00%
環境配慮した施工管理			環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工

*当社の削減目標は上記のとおりで、エアコンを設置完了し電力使用量が確定した54期を基準値として、55期から毎年1%ずつの削減としました。そして、産業廃棄物の目標を追加しました。

V. 環境経営計画

(2023年11月1日～2024年10月31日)

環境目標		取組事項	責任者
二酸化炭素 排出量の削減	使用電力の削減	照明の節電	
		休憩中のスイッチ「切」	小川みどり
		未使用時の消灯	小川みどり
		照明のLED化推進	杉山孝洋
		空調温度管理バトロール(夏26℃ 冬23℃)	杉山孝洋
		エアコンフィルターの清掃(12,3,6,9月)	杉山孝洋
		エアコン管理者の指名、掲示	杉山孝洋
		退社時に消灯確認	杉山孝洋
	ガソリン・軽油使用量の削減	エコドライブの推進	杉山孝洋
		月間の使用量、走行距離の管理	車両管理者
		車両の点検(運転前点検、オイル交換)	車両管理者
		タイヤ空気圧、洗車[4月、12月]	車両管理者
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の両面、裏紙使用	小川みどり
		分別の促進	小川みどり
	産業廃棄物の削減	分別の促進により建設混合廃棄物の削減	佐野浩二
水使用量の削減	水使用量の削減	節水表示、水量調整	杉山孝洋
化学物質の管理	化学物質の適正管理	化学物質の管理に努める	杉山孝洋
グリーン購入	事務用品等の購入促進	事務用品のグリーン商品購入 (エコマーク、グリーン購入法、GPN掲載)	小川みどり
地域貢献活動	環境美化	会社周辺のカーブミラーの清掃 駐車場隣接地(水路敷)の除草作業	杉山孝洋
生産性の向上	生産性の向上に関する提案	改善提案	杉山孝洋
欠損率	欠損率の低減	各部署の連絡の徹底 チェック体制の強化	杉山孝洋
環境配慮	環境を配慮した施工管理	仕様書厳守、エコケーブルの使用 排出ガス対策・低振動・低騒音型の建設機械の使用	佐野浩二

VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年11月～2024年10月)の環境目標の実績

取組項目	年度 単位	基準年 (54期)	56期の目標	56期の実績	評価
		(2021年11月～2022年10月)	(2023年11月～2024年10月)	(2023年11月～2024年10月)	
CO ₂ 排出量	kg	基準年を54期に変更 95,091	(2%削減) 93,189	(5.26%増加) 98,098	×
電力	kwh	基準年を54期に変更 162,051	(2%削減) 158,810	(7.05%増加) 170,013	×
LPG	kg	39.33	(2%削減) 38.54	(7.42%増加) 41.4	×
灯油	L	627	(2%削減) 614	(66.29%削減) 207	○
灯油(建設現場)	L	78	(2%削減) 76	(86.95%削減) 10	○
ガソリン	L	基準年を55期実績に変更 1,765	(2%削減) 1,730	(4.62%増加) 1,810	×
ガソリン(建設現場)	L	5,671	(2%削減) 5,558	(9.76%削減) 5,016	○
軽油	L	1,783	(2%削減) 1,747	(19.4%増加) 2,086	×
軽油(建設現場)	L	712	(2%削減) 698	(50.58%削減) 353	○
廃棄物排出量			(2%削減)	(32.65%増加)	
一般廃棄物(可燃ごみ)	t	1.50	1.47	1.95	×
建設混合廃棄物	t	5.46	5.35	3.25	○
水使用量	m ³	454	(2%削減) 445	(11.23%増加) 495	×
化学物質の管理	—	—	日常の適性管理	日常の適正管理	○
グリーン購入	%	77.4	78.9	80.1	○
生産性向上に関する提案	件数	各部門1件以上	各部門1件以上	各部門1件以上	○
欠損率	%	2.00	1.60	2.06	×
環境配慮した施工管理			環境配慮施工	環境配慮施工	○

(表の上段の削減率は、基準年に対する目標の削減率である。評価は55期の目標に対する実績の評価を行っている。)

○:目標の達成100%、×:目標に対し未達

(原因の分析と是正)

- CO₂排出量は、仕事量が増え電力、ガソリン、軽油等の使用が増えた。
→仕事の効率化、省エネに繋がる材料や情報を収集し省エネ効果向上に努める。
- 電力は、記録的な猛暑、そして残暑により、エアコン使用時間と期間が増えた。
→エアコンは残熱利用で運転時間を短縮し、月1度のフィルター清掃に心がける。
- LPGガス使用は、現在も感染症予防対策で食堂を一部移動して使用しているため増加となりました
→手洗い、洗い物はできる限り水を使用し、尚且つガスの調整を低めに設定する。
- ガソリンは、新規業者との取引により増加した。
→効率的な運送ルートおよびエコドライブに心がける。
- 軽油は、仕事量が増え製品輸送が増えた。
→不要な荷物を積まずエコドライブを心がける。
- 一般廃棄物は、事業所の大掃除で発生する不用品、除草のゴミが増えた。
→社内書類の電子化と無駄なゴミを出さない。
- 水使用量は、感染予防対策で手洗いの回数が増えていることと洗車で増えた。
→水の出しっぱなしをしない(手洗い、洗車等)で節水に努める。
- 欠損率は、仕事量の増加に伴い設計不備の削減ができなかった。
→原因を究明して再発防止に努める。

②次年度の環境経営目標 変更なし

VII. 環境経営計画の取組結果とその評価と次年度の活動

56期（2023年11月1日～2024年10月31日）

環境目標		取組事項	部署 場所	取組の評価		問題の是正及び 予防	次年度の活動
二酸化炭素 排出量の削減	使用電力の削減	照明の節電	全社	○	実施された		継続実施
		休憩中のスイッチ「切」		○	実施された		継続実施
		未使用時の消灯		○	実施された		継続実施
		照明のLED化推進		○	実施された		来期除く
		空調温度管理 夏26℃ 冬23℃	事務所	△	気温に左右された	こまめに温度管理	継続実施
		エアコンフィルターの清掃(12,3,6,9月)		○	実施された		継続実施
		エアコン管理者の指名、掲示		○	実施された	管理者を変えて意識の向上	継続実施
		退社時に消灯確認	全社	○	実施された		継続実施
		使用していない機械、パソコンの電源を落とす	全社	×	電源OFFになっていない	パソコン電源OFFの徹底	継続実施
		スポット的に扇風機、ストーブを使用	全社	○	実施された		継続実施
		エアコンを退社時間より30分早めに停止	工場	×	気温により使用時間が増えた	時間の徹底を図る	継続実施
	ガソリン・軽油使用量の削減	エコドライブの推進	全社	△	未実施もあった	再度徹底	継続実施
		月間の使用量、走行距離の管理		○	各車に管理表を常備		継続実施
		車両の点検(運転前点検、オイル交換 タイヤ空気圧、洗車[4月、12月])		○	実施された		継続実施
		アイドリングストップ及び急発進・急加速防止		○	実施された		継続実施
		計画的運転(ルート・製品輸送等)		×	仕事量増加のため未達	無理無駄のない運送計画を立てる	継続実施
	LPG使用量の削減	湯沸し器の火力の適正調整	事務所				次年度 取組事項
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の両面、裏紙使用	全社	○	実施された		継続実施
		分別の促進(資源化)		○	実施された		継続実施
		書類整理		×	大掃除に発生	計画的に破棄	継続実施
	産業廃棄物の削減	分別の促進により建設混合廃棄物の削減		○	実施された		継続実施
水使用量の削減	水使用量の削減	節水表示	総務	○	実施された		来期除く
		手洗い、うがい、洗車時の節水	全社				次年度 取組事項
化学物質の管理	化学物質の適正管理	工場で使用する化学物質の管理徹底	工場	○	実施された		継続実施
グリーン購入	義務用品等の購入促進	事務用品のグリーン商品購入 (エコマーク、グリーン購入法、GPN掲載)	総務	○			継続実施
地域貢献活動	環境美化	会社周辺のカーブミラーの清掃 駐車場隣接地(水路用敷)の除草	全社	○	実施された		継続実施
生産性向上	生産性向上に関する提案	改善提案	営業管理部 製造部	○	実施された		継続実施
欠損率	欠損率の低減	部署間の連絡を徹底 チェック体制の確立	営業管理部 製造部	×	設計不備がないよう努めたが削減出来なかった	原因究明し再発防止に努める	継続実施
環境配慮	環境配慮した施工管理	エコケーブルの使用 排出ガス対策建設機械の使用 再生材の使用	工事営業部	○	実施された		継続実施

※評価:○概ね出来た △あまり出来なかった ×ほとんど出来なかった

Ⅷ. 当社の取組

◇わかりやすい表示で啓発運動

■エコドライブ



■節水



■掲示板



■節電



■エアコン設定温度の厳守



◇ごみの分別



◇板金工場はLED化



◇地域への貢献活動

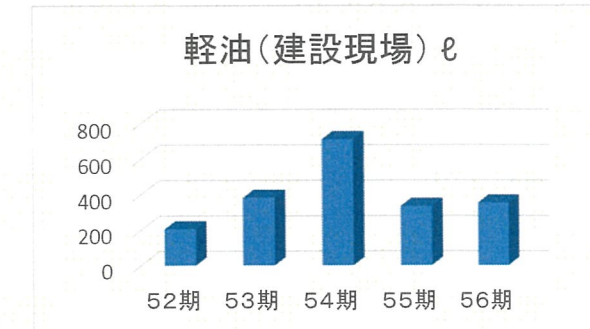
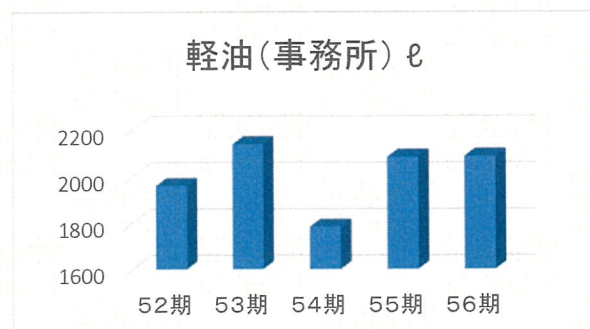
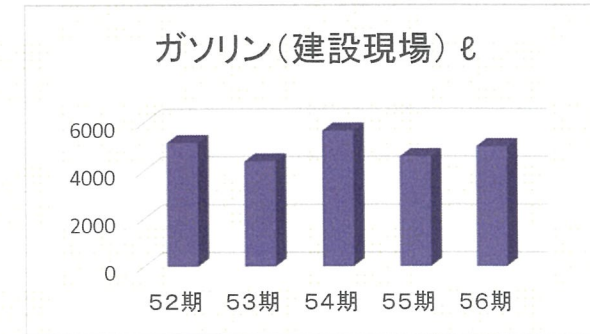
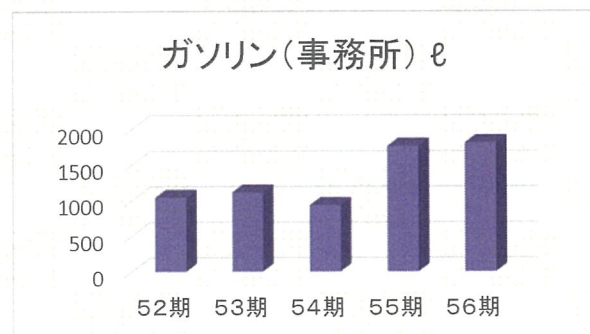
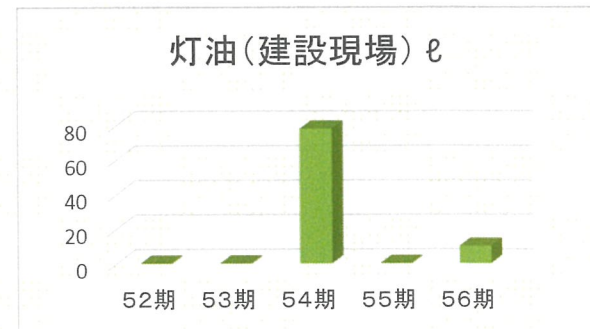
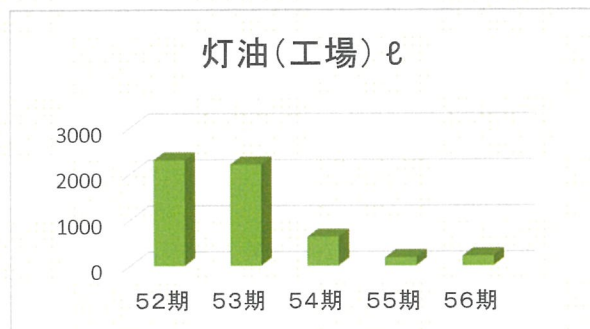
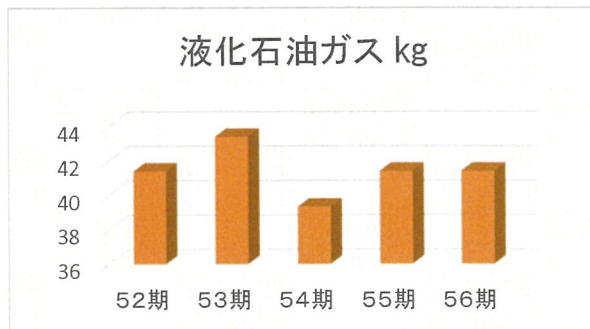
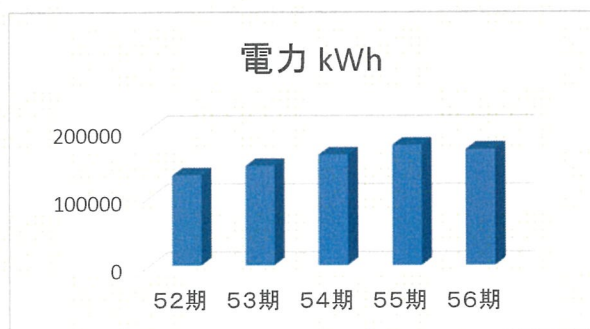
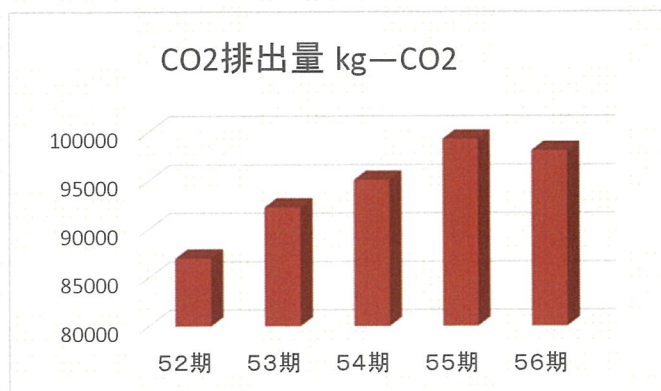
会社周辺のカーブミラーの清掃



駐車場周辺の草刈り



◇5年間(51期～55期)の二酸化炭素排出量、電力・石化燃料の使用状況



IX. 環境関連法規等の遵守状況確認・評価結果と違反、訴訟の有無

□環境関連法規等取りまとめ表

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認日：令和6年10月31日

確認者：環境管理責任者 杉山 孝洋

適用法令等	遵守事項	当社の適用及び対応	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保 (令第3条第1号、規則第1条の5)	廃棄物分別手順と保管場所の 掲示	○
	産業廃棄物の適正処理(収集運搬、処理 業者への委託)(法第12条第5号)	委託契約書	○
	産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付 と期間内処理の確認(法12条の3第1号)	マニフェスト管理と5年間保存	○
	管理票交付状況の県知事への年度報告 (紙は6月30日期限)(法12条の3第7号)	管理票交付状況報告書 (電子マニフェストで報告)	○
静岡県産業廃棄物の適正な 処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任	選任と研修の受講	○
	産業廃棄物処理業者への現地確認	毎年1回以上定期的に行う	○
建設リサイクル法	建設副産物リサイクル (法第5条、10条)	建設副産物リサイクル計画書作成 再資源化完了報告書	○
消防法	危険物取扱、施設点検の遵守 (法第9条の3、10条)	取扱、点検および適正管理 危険物保管規程値以下の確認	○
PRTR法	化学物質管理指針に留意した指定化学 物質の使用取扱に係る管理 (法第4条)	塗料の安全データシートに基づき 作業、応急措置、保管等の厳守 使用量の把握	○
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な 引渡し(法第6条)	冷蔵庫、テレビ、エアコン、電気 洗濯機排出時	該当無
自動車リサイクル法	自動車の廃棄時(法第5条、73条)	リサイクル料金の支払(廃棄時)	該当無
資源有効利用促進法	指定再資源化製品のリサイクルへの協力 (法第4条、5条)	メーカー回収への協力(パソコン、 小型二次電池等の廃棄時)	○
フロン排出抑制法	簡易点検(法第16条)	簡易点検異常なし	○
地球温暖化対策推進法	自主努力義務、行政への協力(法第5条、第 20条の6)	EA21の取組	○
省エネ法	省エネの自主努力	省エネ型モーターへの切替え	○
グリーン購入法	事務用品等の購入促進(法第5条)	事務用品のグリーン商品購入	○
騒音規制法	特定施設の設置・使用届出(県条例53条)	特定施設の設置・使用届出	○
静岡県生活環境の保全等に 関する条例	規制基準の遵守(県条例52条)	(工業地域)第4種区域 朝・夕65デシベル、昼間70デシベ ル、夜間60デシベル	○
振動規制法	特定施設の設置・使用届出(県条例80条)	特定施設の設置・使用届出	○
静岡県生活環境の保全等に 関する条例	規制基準の遵守(県条例79条)	(工業地域)第2種区域 昼間70デシベル、夜間65デシベル	○
労働安全衛生法	従業員の安全と衛生の確保(法第3条)	SDSの遵守と規制内容の遵守	○
(株)明電舎グリーン調達基 準書	基準の遵守	適合材料の使用、適合製品の納入	○
電気工事業の業務の適正 化に関する法律	電気工事業の適性な実施 電気工作物 の保安の確保(法第3条)	登録の更新、基準の遵守	○

□違反、訴訟等の有無

当社に対して関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

X. 代表者による全体評価と見直し・指示

作成 令和 6年 12月27日

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ 目標に向かって取組んでいるが未達成部分もありました。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取組めます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 別紙にて報告するようにします。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 特に問題ありませんでした。
	8	前回指摘事項の取組結果	☒ 2017年版ガイドラインに基づき運用された。

2・代表者による全体評価・見直し指示

エコアクション21活動の取り組みが9年目となりました。
 板金工場と組立工場に、新規にエアコンを設置して3年となり、基準年を54期実績に見直し活動をしてまいりました。
 今期の環境目標に対する達成状況は、CO2排出量を始め、電力・ガス・ガソリン等未達の項目がありました。これらは、コロナ感染症の沈静化や仕事量の増加に伴う生産活動の活発化によるもの、また、猛暑ゲリラ豪雨等気候変動がもたらす要因などのエネルギー消費の増加が懸念されました。
 しかしながら、環境活動を推進し、目標達成していくためには、省エネ対策無駄を省くという基本方針を進めるよう社員に指示をしたところです。
 今期目標を達成できなかったことも踏まえ、来期に取り組んで頂きたい。
 なお、弊社はカーボンニュートラルにおいて、SBT認証を令和6年6月28日に取得、脱炭素社会の実現を目指し、エコアクション21を最大限に活用して環境保護を優先する企業として推進していくとともに、深刻化する自然災害の危機管理にも努めてまいります。

代表取締役 平井 義正

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・ ☒ 無	
2	環境経営目標	有・ ☒ 無	
3	環境経営計画	有・ ☒ 無	
4	環境に関する組織	有・ ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	